

I 心と言葉の罪

1. 「昔の人々に対して、『殺してはならない。人を殺す者はさばきを受けなければならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています」：21。

当時、旧約聖書を良く知っている、守っていると思いがっている律法学者、パリサイ人がいた。出エジプト記20章の十戒の中に「殺してはならない」(20：13)とある。彼らは、この戒めの神の意図を正しく理解していなかった。

①この戒めは、「ただ実際に殺人を犯すな」という意味と私的解釈をしていた。

神の真の趣旨は、「殺してはならない」とは、実際の殺人の禁止だけではなく、心の憎しみによる殺人、ひどい態度、ひどい言葉による殺人も含んでいた。

②大切なのは、律法の本質、心、動機であって、文字、表面だけではない。

Ⅱコリント3：6に「文字(もんじ)は殺し、御霊は生かすからです」とある通りである。

③律法は、消極面だけではなく、その真の目的は、積極面が含まれている。

つまり、「殺してはならない」とは、「相手を生かさない、相手の命を大切にしないで、相手を心から愛さない」という事である。

④律法(心の聖さ、動機の本質、真の愛を含む)は、自分の力では、完全には、とうてい守れないと気づかせ、自分の弱さを認め、キリストに私達を導くものである。

「律法は私達をキリストに導く養育係となりました」(ガラテヤ3：24)

2. 私が最も自分の罪が分かったのは、本日の次の御言葉からである→

「しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます。『愚か者』と言う者は火の燃えるゲヘナに投げ込まれます」：22。

「兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません」

＝外側に現れる実際の人殺しは、人の心の怒り、敵意、憎しみ、恨み、ねたみから始まっている。神は心を見られ、心の悪い思い、持つ悪、罪を、さばかれる。この神の聖なる基準に合格する人はいない。だから私達の悪い心の思いの罪の為に十字架で身代わりに刑罰を受けられた主の恵みが皆、必要である。

「兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます」

＝『ばか者』とは、神の目から見れば、軽蔑の態度の罪である。軽蔑の態度で、ばか者と言うことは、殺人と同じである。「ばか者」とは、軽蔑の態度であり、私達の誰もが身に覚えのある心である。それは神の目から見れば、恐るべき罪である。

主は、外側の実際の罪の行為は、人の心の中から出て来ると言われた

→「人から出て来るもの、それが人を汚すのです。内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、これらの悪は、みな内側から出て、人を汚すのです」

(マルコ7：20—23)。

私達は、実際に外側に現れる殺人の罪を犯していないかもしれない。しかし、主が言われる心の中

の怒り、憎しみ、恨み、軽蔑が殺人の罪とすれば、私達は、これまで、心の中で何人の人々を殺して来たことだろうか？

私は、この霊的な意味を御聖霊に示された時、私の罪が分かり、ますます、主の十字架の恵みが分かった。主の十字架の恵みなしには決して救われないと分かった。

主がここで教えられているのは、実際に人を殺さなくても、人のあら捜し、悪口、憎しみ、「あの人さえいなければ」という思いで殺人の罪を犯しているという事である。

第三に主は『『愚か者』と言う者は火の燃えるゲヘナ（刑罰の場、地獄）に投げ込まれます』：22と云われた。これは、ののしりの表現であり、人の悪口を言う罪である。

言葉の罪、言葉による殺人である。

言葉は、人を生かし励ます事も殺す事も出来る。ある人は、言葉の暴力に耐えきれず命を絶つ事もある。

「舌（言葉）を制することができる人は、だれもいません。舌は、休むことのない悪であり、死の毒で満ちています」（ヤコブ3：8）。

Ⅱ 私達は、自分の数えきれない罪（外に見える悪だけではなく、心の中の悪い思い、神なしで自分の力で生きることができるという高慢）の故に、滅びの道しかなかった。

しかし、悪い心と悪い態度と悪い言葉の罪、他すべての私達の罪の為に、主が十字架で身代わりに死なれ、刑罰を受け、私達の罪の償いが完全になされ、主の恵みにより、私達の数えきれない罪の完全な赦しがある恵みを心から感謝したい！

「キリストは自ら、十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒された（赦された）」Ⅰペテロ2：24。

「キリストも一度、罪（私達の罪）のために苦しみを受けられました。正しい方（罪のないキリスト）が正しくない者たち（罪に深い私達）の身代わりになられたのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした」Ⅰペテロ3：18。

「死んだ者であったあなたがたを、神はキリストとともに生かしてくださいました。私たちのすべての背きを赦し、私たちに不利な、様々な規定で私たちを責め立てている債務証書を無効にし、それを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました」コロサイ2：13、14

Ⅲ 罪の赦しだけでも、あられる恵みだが、三位一体の神は、私達の罪を赦すだけでなく、私達を日々聖め、主の姿に変え続けて下さる！御霊の実、聖霊の日々の御業。

私達が主に救われていなかったら、赦しもなく、また、日々悪魔と自分の心の罪に負け、もっと、もっと悪、罪に縛られた生活を送っていた事だろう。罪を罪とも思わず。

しかし、愛に満ちた神は、私達に

①罪の赦しだけではなく、

②日々、御聖霊により、内側から私達を聖め、日々、愛と聖さに満ちた主の御姿に変え続けて下さる！

「私たちは、…栄光（主のご性質）から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」Ⅱコリント3：18

「肉（私達の罪の性質）のわざは…淫らな行い、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、

憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、遊興…しかし、御霊の実（御霊なる神が私達の心に生み出して下さる実）は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です」

ガラテヤ5：19－23。

ここに、私達は、日々、主の十字架の恵みによる罪の赦しへの感謝と、日々、聖霊なる神により聖められ続け、主の御姿に変えられ続ける希望がある！